

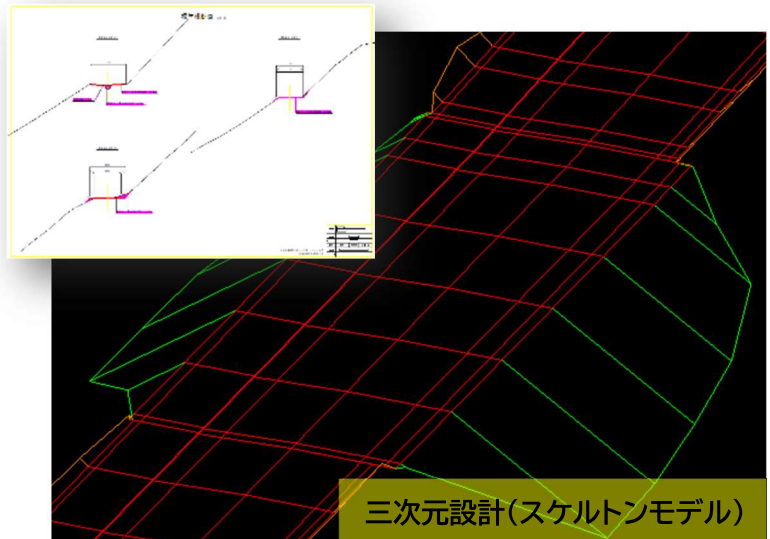
三次元設計 - 設計業務のこれから -

これまでの設計業務は、二次元の CAD を用いて平面図、縦横断図によって設計業務を行ってきました。今後は**三次元 CAD**が主流になると考えられます。

三次元測量により取得した**点群データ**や **LandXML**(土木分野における設計・測量三次元データの標準フォーマット)を活用して行います。これらにより **ICT 施工との連携**においても活用可能です。

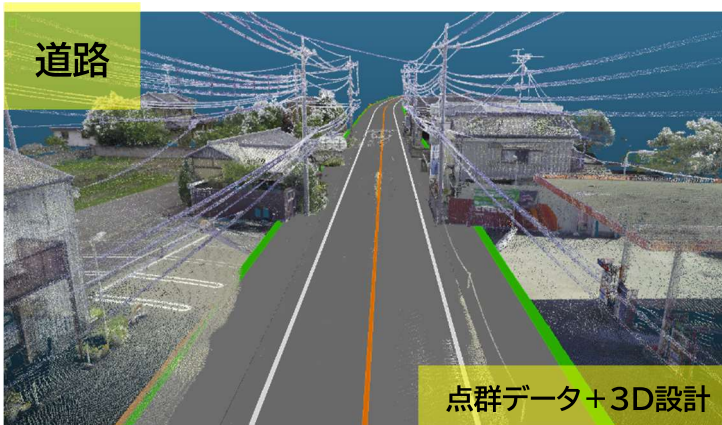


三次元点群測量



三次元設計(スケルトンモデル)

BIM/CIM、i-Construction に対応した 3DCAD システムを使用し、設計を行います。三次元測量から取得した点群データを取り扱うことによって、データが途切れることなく円滑な作業が可能です。そして三次元データは誰にでも分かりやすく計画を表現することができます。



道路

点群データ+3D設計



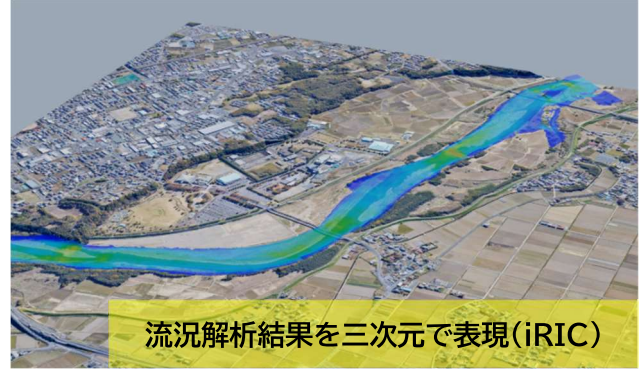
河川

三次元設計: ICT施工 起工測量・3D 設計データ

次回はゲームエンジンや解析ソフトを活用した川づくり・氾濫シミュレーションについてお伝えいたします。(裏面)



設計イメージの合意形成をはかる際には三次元設計データをよりリアルな質感に仕上げたメタバース(Unreal Engine)や、水理解析(iRIC)を用います。これらは既存の二次元 CAD データからでも作成が可能です。詳細は次号でお伝えいたします。



社内技術発表会における【リモート災害査定】の試行状況

当社では業界を取り巻く状況を踏まえ、「IT 推進室」を設け新技術の研究・検証を行っています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



株式会社栃木県用地補償コンサルタント

担当:島田 0282-24-1795

